

チャレンジ保育に向けて...



① でも...「じゃがいもってどうやってうえるのかなあ?」調べてみると...じゃがいもを半分に切って、**灰**をつけるらしいよ。「**灰**ってなあに?」



③ しろきこども園にも、うさたんで収穫した「**わら**」があるよ!

④ よし、燃やしてみよう!





⑤ わらを燃やしたら、色が変わったよ！
においも違うね！量も減ったよ。
なんでだろう？



⑥ 灰を集めてみたら、黒いものができあ
がったよ。これが、「灰」なんだね。



⑦ しばらくして灰を触ってみたら、さらさら…。手を見たら
真っ黒になった！

⑧ いよいよ、じゃがいもを半分にきってみよう。



⑨ どんな感じ？ぬるぬるしてるね…。

⑩ 灰をつけてじゃがいもをうえました。



これからまだまだ続きます。



育みたい資質・能力 3つの柱

運動遊び、ごっこあそび、飼育、栽培など・・・日々の保育の中で様々な活動がありますが、その中で子どもの育っていく力とはどういうものか、それをまとめたものが“資質・能力”の3つの柱(学びに向う力・人間性等 思考力・判断力・表現力等の基礎 知識や技能の基礎)です。気づくこと・できること・試し・工夫すること・やりたいことに向けて頑張ることなどが、乳幼児期の“資質・能力”です！今回は、じゃがいもを植えるまでの写真を通して紹介したいと思います！

「じゃがいものみそ汁をつくりたい！」
という子どもの願いから、遊びの中の学びのプロセスがあります。

学びに向う力、人間性等

・「じゃがいものみそ汁をつくりたい！」と
思っている。
・わらを燃やすと灰ができるのではないかと
予測し試してみる。
・予測したこと、調べたことが本当だった
嬉しさ、燃やした後のにおい、量、色など
の気づきを保育者や友だちに受け止めて
もらい、嬉しく感じている。

知識や技能の基礎

・図鑑で見たことを、実際に
試し発見の喜びを味わって
いる。
・わらを燃やすと、量が減る
こと、においがすること、色
が変わることなど、材質の
特性に気づいている。



思考力・判断力・表現力等の基礎

・原因を予想し、考えた
ことをことばで伝えあっ
ている。
・友だちの考えに触れ、
さらに試行することが楽
しくなっている。

年長児になるまでに積み重ねてきた経験として・・・

・遊びや友だちとの関わりの中で、自分の
思いを動きや言葉で表していく。
・色々な材料や素材に触れる中で、その特
質に興味や関心を持つ。